

2015年

携帯サイトへGo!→
携帯で教室便利が見られます



教室だより 6月号

大人の言葉の影響

二十四節気の大きなポイントのひとつになる「夏至」は、1年で最も昼の長い日として知られています。「夏至」というと、その字面が持つイメージとあいまって、いかにも夏の盛りを感じさせますが、実際はといえば、ほとんどの地方が梅雨の真最中。したがって、1年で最も長い昼をもたらす太陽のパワーを実感することはあまりないかもしれません。雨が続くと、外にでるのが億劫になったり、カビが生えやすくなったりするので、大人はうとうとしますが、日本の幼児教育の父、倉橋惣三は「6月の雨だって、大人が教えなかったら、子どもには少しも苦にはならないもの」「子どもは、知らなくてもいいことを、大人から教えられることが屢々（しばしば）ある」（『育ての心・上』フレーベル館）と戒めています。

「勉強」についても、「将来、充実した人生を送るために、しんどいけれど、しなければいけないこと」というような表現を子どもに対してしてしまっていることがあるかもしれません。本来、子どもは学ぶことが大好きです。親が子どもを勉強嫌いにさせてしまうような発言を知らず知らずのうちにしないよう、気をつけたいですね。

公文式の創始者・公文 公（くもん とおる）先生の言葉より

“学校と同じようにはしない——個人別教育のめざすもの”

一人ひとりの子どもは、興味、学力、能力、生育歴…など、さまざまな面でそれぞれに違う個性をもっています。それぞれに違うのなら、その違いに応じて学習できるようにしてあげるべきではないでしょうか。個性を伸ばす意味からも、それはとても大切なことです。

一人ひとりの子どもにちょうど合った内容の教材を渡し、その子にとって必要なことを必要なだけ個人別に学習できるようにしてあげるのが、公文式です。ですから、公文式の教室には「落ちこぼれ」の子どもは一人もいません。年齢や学年という枠に子どもをはめこもうとするから“落ちこぼれ”るのであって、その枠を取り払ってしまえば、そこにいるのは精一杯伸びようとしてイキイキしている子どもたち一人ひとりです。

他と比較されるのではなく、自分がどれだけ成長できたかを確認できる学習こそ大切です。今日のがんばりの向こうに一回り大きな自分があることを信じられる“自己肯定感”をもてる子どもに育てるには、どうしても個人別の教育でなければならないのです。

2015年 6月の学習日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

本市場教室日□

横割教室日△

公文式本市場教室 火・木 3～7時 TEL 186-61-4936(上平方)

横割教室 月・水 3～7時 TEL 61-8891(福島方)

指導者：新妻ゆき子 携帯090-2260-0671

Eメール:yvonne-yukiko@mbi.nifty.com

携帯アドレス:yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp

ゆきこくもん

検索

ホームページ <http://www.yukiko-kumon.com>

ふげんじつこう
不言実行

理くつや宣伝など、あれこれよいことを言わないで、よいことをたまっておこなうこと。

「不言実行で、毎朝公園のそつじをするお姉ちゃん、えらい。」

「いつも不言実行のお父さんは、みんなから尊敬されている。」

くもん出版刊「四字熟語カード」より

ゆき子の一言コラム

【第4回】子供の学力を上げる方法

親の「接し方」で大切なポイント

①部屋を適度に散らかしておく

一瞬「えっ!？」と思いますが、多少散らかっている方が脳の刺激になるのだとか。

プロ家庭教師で塾ソムリエでもある西村則康氏によると、「部屋を適度に散らかしておく」状態は、子どもの脳をものすごく鍛える。反対に、断捨離された環境だと「工夫する」気持ちがわかなくなってしまう。

②高い学歴を期待するプレッシャーを与えるのではなく、子どもが「自分を見てくれて嬉しい」と感じる期待感が◎。親が「高校」までの学歴を求めるのか、「大学」までを求めるのかで、テストの正解率に25%以上の差が見られる。普段から勉強をみてあげたり、計画的に進められるよう促してあげるのが効果的だそう。

③お手本になれることをする

あれをしなさい、これをしなさいと言うだけでなく、親も一緒に同じ体験を。

「勉強しなさい」と言うだけの家庭では、学力にマイナスの効果が。

④親子げんかしない

追い詰める叱り方はストレスに……。

家で親子学習をするときに、子どもを追い詰めるのはストレスとなり逆効果。親子げんかになりそうなときは、塾に通っているならば、塾の先生に任せてしまう。

子どもの「学習法」で効果的な4つのポイント

①手が届きそうな目標を立てる

どこかで「どうせできなそう」って思っちゃうとやる気が出ない。勉強を始めてもすぐ飽きるのは、目標設定が遠いから。ゴールを立てたところで「手が届きそう」って思えないからです。

②勉強は時間でなく「分量」を決める

「〇時から〇時まで勉強」……としがちだけど？

効果的なのは、テキストを何ページ解く…といった「分量」で目標設定すること。何をやればいいのか具体的だし、勉強の進み具合が確認できるのでやる気が出ます。

③解き方を教える

こまごまと解説やヒントを与えても、子どもは「それよりやり方を教えて」と感じるもの。

「すぐに答えを教えると自分で考えない子どもになる」というのは誤解です。解き方を教わって問題を解き、また次に同じ問題を解く。3回も繰り返せばさっと解けるように。

④小さなことからクリアする

課題を細かく分けて一つずつクリアできるように手助けする「スモールステップ」と呼ばれる手法。

脳が一度に記憶できる量は少ないので、できるだけ「小分け」にして整理することで理解しやすくなります。

一度に覚える量を「スモール」に。

ノートにずら～っと文字を書いていっても、なかなか覚えられませんよね。そういったときはひと目で見られるように、できるだけ小さな文章の塊にして、箇条書きにして整理します。記憶のコツとは?～効果的な記憶術の方法はこれ! 文字量も「スモール」。ディズニーのキャストたちは、職場の中でユニークなスモールステップ(実現可能な小さな目標)をつくってチャレンジしています。その積み重ねこそが後輩を成長させる「近道」です。

目標も「スモール」にして、成功体験を積み重ねていくのが「スモールステップ」。ディズニーだけでなく、教育の場で活用している企業や学校も多い。公文でも実践されている。たとえば「スモールステップ」を早くから導入した公文では…本当に1人でできるようになったかチェックを行ってから次へ進む「スモールステップ」で、着実な学力定着を実現。授業のつまずきは「戻り学習」で、できるところまでさかのぼって学習し、自信と次への挑戦意欲を育てます。一度つまずくとそのままズルズルと先に進めなくなってしまうので、つまずいたところができるようになるまで教えてもらうことが大切。「できる」の積み重ねで自信を持てるようになれば、子どもたちは自然と前向きになり、積極的に物事に取り組むようになります。

お休みのときは、電話でも携帯メールでも結構ですので連絡をお願いします。6月分の会費引き落としは5月28日(木)です。よろしくお願いいたします。(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。最近 教室からお迎えの電話をする子で、電話代を置いていかない子がいます。大家さんから電話代が足りないと言われました。お迎え電話を教室からする子には必ず電話代10円を持たせてください。